

=====
◆◇「犯罪からの子どもの安全」メールマガジン vol.14 ◇◆
2009年10月29日号
=====

このメールマガジンでは、(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(以下、RISTEX)「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域が領域の活動報告をはじめ、各種イベント案内、国の取組み、問題に取り組む人々の紹介など、犯罪からの子どもの安全に関する様々な情報を毎月一回程度配信しております。

次回から配信を希望されない方、登録情報を変更したい方は、末尾をご参照下さい。

メルマガについてご意見やご感想、こんな情報が知りたい、こんな取り組みを行っているなど、皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆ INDEX ◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート
—シンポジウム「犯罪からの子どもの安全を考える in NARA」参加レポート
2. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイト更新情報
3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング
今月一番注目されたコンテンツとは・・・

◆◆◆◆

1. 犯罪からの子どもの安全レポート

皆さんこんにちは！

日ごとに朝晩の冷え込みが増し、涼しさを通り越し寒さを実感するようになりました。紅葉前線も順調に南下中、秋まっただ中です。秋と言えば、「〇〇の秋」シリーズ、これ定番ですね。個人的には「味覚の秋」ですが、領域としては「実りの秋」を目指したいものです。

それぞれの研究開発プロジェクトも成果という実をつけるべく、取組みを進めています。桃栗三年柿八年ではありませんが、社会に役立つ成果創出にはやはり時を要します。いい実を实らせるには、その経過ももちろん大切です。

プロジェクトの経過を知るためには、サイトビジットは大変有意義です。今月もいくつかのプロジェクトの会議にお伺いさせていただきました。

「系統的な「防犯学習教材」研究開発・実践プロジェクト」は、定期的に全体会議を開催しており、そこに参加してきました。前号で、中間評価を前にして、プロジェクトの進捗報告会を開催したことを

お伝えしました。その時の意見や今後のプロジェクトの進め方についての要望は、文書にまとめて実施者にお送りしているのですが、改めてその主旨を伝えてきました。厳しいこともお伝えしましたが、本格的な地域での実証もスタートすることから、より一層、実施者が力を合わせてプロジェクトを進めてほしいです。

「犯罪からの子どもの安全を目指したe-learningシステムの開発」プロジェクトも、中間評価を前にして、報告会を行い、要望等を伝えながら進捗を見守っているプロジェクトです。9月20日の日本安全教育学会では、調査結果の一部を発表。携帯電話を持っている子どもの方が、持っていない子どもに比べて防犯意識が低い!?といった、面白い結果が得られている模様。それらの結果をどう防犯教育に盛り込んでいくのかなど、グループリーダー会議で議論がなされました。

いずれのプロジェクトにおいても、研究開発が進むほど、プロジェクトとしての成果創出に向けて実施者間の連携が重要となってきます。メンバーが多いほど大変になりますが、コミュニケーションを重ねて進めて欲しいです。

サイトビジットは行っていませんが、「犯罪から子どもを守る司法面接法の開発と訓練」プロジェクトでは、児童相談所の専門家を対象にした今年度の面接研修第1クールを実施。また、10月24日の法と心理学会では、「録画された子どもへの面接：証拠としての価値と法廷における問題」というワークショップを企画。取調べの可視化に関する議論がメディアでも取り上げられ、警察庁や法務省でも勉強会の動きがあるとの報道もあり、今後の社会の動きにも注目です。

「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」プロジェクトでは、10月18日に奈良で全体調整会議が行われました。こちらは、4グループから構成される大きなプロジェクトです。実際の地域との協働も盛んで、ワークショップやヒアリング等を重ねている模様。防犯まちづくりのためのマニュアルやポータルサイトの骨子についても検討がなされていました。会議の前日に開催されたシンポジウムに領域担当が参加してきましたので、その様子を今号のレポートにて紹介しています。ぜひご覧ください。

それでは、最後までお楽しみください。



●10月17日(土)開催

「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」プロジェクト
シンポジウム「犯罪からの子どもの安全を考える in NARA」
(奈良県奈良市 奈良女子大学記念会館) 参加レポート

小雨が降ったり止んだりの10月の土曜日、古都奈良で「計画的な防犯まちづくりの支援システムの構築」プロジェクト主催のシンポジウムが開催されるということで、参加してきました。

「5年前小泉内閣時代の『安全・安心まちづくり』の一環で行われた鬼高地区(千葉県市川市)での取組みを他地域でも応用・展開できないか？」これは、このプロジェクトを立ち上げたきっかけについて研究代表者である山本俊哉氏(明治大学 准教授)が講演の中で述べたものです。

鬼高地区では、地域の関係団体(町内会・PTA・商店会・市町村・警察等)が連携・協力して取り組めるよう、地域内で役割分担も含めて、子どもを守る防犯まちづくり計画を議論・作成し、取組みを行ってきました。

このプロジェクトでは、その取組みを発展させると共に、他の地域でも取り組めるよう、防犯まちづくり計画策定から計画の実行、評価・改善までを支援するマニュアルや、情報発信のためのポータルサイトといった支援ツールの開発に取り組んでいます。

今回のシンポジウムの中心となっていたのは、評価改善支援のマニュアル作成に取り組むグループ。このグループでは、奈良県の富雄地区とその近隣地区の方々と協働して、犯罪発生状況や住民意識の調査などを行いながら、防犯まちづくりの評価方法の開発に取り組んでいます。

「安全」だけでなく、「安心」をキーワードに入れている本プロジェクト。住民へのアンケート調査の結果を分析することによって、現状の「安心の程度」だけでなく、「安心感をもたらす原因」などを抽出し、活動の評価や今後の方針の検討・改善に役立てようとしています。

奈良市富雄地区では、2004年に当時小学校1年生だった女兒が誘拐、殺害されるという痛ましい事件が起きました。その後、さまざまな自主防犯活動がより活発に行われているとのこと。

今回は、地域での調査結果や自主防犯活動について議論が行われるということもあってか、参加者は調査対象地区の関係者が中心のようでした。

調査結果については、中迫由実氏（奈良女子大学 特任助教）により報告されましたが、対象地区によって結果がはっきりと割れたことに興味をひかれました。

例えば、集団登下校の実施については、ほぼ100%実施、約半数が実施、実施しているのは1%未満、と対象3地区で異なり、集団登下校の現状と必要性の有無がリンクしているとのこと。また、見守り活動について感じることにについては、ある地区では、「多くの人に見られていて安心」と思う人が半数以上を占めるのに対し、他地区では3分の1程度しかいないといった結果がそれぞれ得られ、差があるのです。同じ市内の近隣地区でなぜこんなにも違いがでるのでしょうか？

また、小島隆矢氏（早稲田大学 教授）の講演の中の見守り活動と安心感に関する話題も興味深いものでした。それは、ネガティブシナリオとポジティブシナリオという考え方。調査結果からは、見守り活動によって、居心地が悪いと感じてしまえば関心も薄れ、安心感も得にくく、それとは逆にコミュニケーションが向上したと感じれば、関心も高まり、安心感を得られやすいとのこと。

現場の方からは、「条件や犯罪の他にも、結果を左右するものとして、活動の主導者の考え方の問題がある。子どもの安全に対する意識が高い人が主導しているかどうかでも違いがでる」、「行政が予算をつけるなど積極的に関与しているかどうかでも差が出る理由の一つではないか」といった意見も。

評価・改善の際には、地域や取組みの悪いところだけではなく、いいところにも着目することもポイントだそう。確かに、これは関係者のモチベーションにも関わってくる重要な視点です。

取組みを継続させるために欠かせないものとして、多様な関与者や機関の連携にも話題が及びました。山本代表も安全なまちづくりのために重要なこととして、各地区の取組みにおける問題点のリストアップや検証、人々の協調行動の活発化とともに、関係者の役割分担と協力関係の明確化を挙げていました。

さらに、各地域で情報を閉じないで、公開してお互いに共有・参考にする

ことが大事との意見もありましたが、現場の方からは重要なのは分かるが、「隣の自治会には口を出しにくい」「自治会とPTAでは世代も違うので話しにくい」との声も。

コミュニケーションをとると勝手な思い込みが取り払えたり、役割が明確になつたりと活動にプラスに作用することも多いので、連携や情報共有は難しくはあるけれども、乗り越えなければならない課題であることが浮き彫りになりました。

安全・安心を実現するため、まちづくりを継続するために、様々な人々や機関が関わっていることを実感したと同時に、それ故の難しさやたくさん問題があることを痛感しましたが、山本代表やプロジェクト実施者の方の「役に立てるような知見を全国的に創出したい」「望ましい活動や広く安全なまちづくりのため、現状を分析し、全国発信していきたい」という力強いメッセージ、そして現場で取組みを行っている方々の熱心さから、壁を乗り越えるための活路を見出せそうな気がしました。今後の展開に要注目です。

(領域担当)

2. 「犯罪からの子どもの安全」ウェブサイト更新情報・今月の見どころ

【更新情報】

●国の取組み

第1回青少年インターネット環境整備推進課長会議の議事次第及び議事概要について (内閣府)

<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/index.html>

「子ども・若者支援地域協議会の設置に向けて」

(法律説明会資料) (内閣府)

http://www8.cao.go.jp/youth/suisin/pdf/law_s1.pdf

平成20年中における少年の補導及び保護の概況 (警察庁)

<http://www.npa.go.jp/safetylife/syonen43/syonen20.pdf>

法制審議会第159回会議 議事録

民法の成年年齢の引き下げについて 他 (法務省)

<http://www.moj.go.jp/SHINGI2/090917-1.html>

子ども虐待対応の手引きの改正について (厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/dv36/index.html>

平成21年度「児童虐待防止推進月間(11月)」の実施等について

(厚生労働省)

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/09/h0928-2.html>

その他の取組みについてはこちら

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/ministries/>

●イベント情報

平成21年11月1日 第6回日本市民安全学会横浜大会 市民安全安心フェスタ
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20091101.pdf>

平成21年11月14日～ 子どもの虐待防止推進全国フォーラム
in にいがた・妙高
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2009/04/h0422-1.html>

平成21年11月27日 日本子ども虐待防止学会 第15回学術集会埼玉大会
～児童虐待防止制定10周年記念大会～
<http://www.toptour.co.jp/conv/3306/jaspcan15/index.html>

平成21年11月28日 2009年度日本リスク研究学会 第22回年次大会
<http://www.sra-japan.jp/SRAJ2009HP/indexjp.htm>

平成21年12月9日 地域安全マップ指導員全国大会
<http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20091209.pdf>

その他のイベントについてはこちら
→ <http://www.anzen-kodomo.jp/event/>



【今月の見どころ】

今月の見どころはトピックスから、
「プロジェクト実施者インタビュー第6回」です。

今回インタビューしたのは、平成20年度採択「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」プロジェクトです。

皆さんも、ニュースや新聞などで、インターネットを通じて子どもたちが被害にあう事件を何度か見聞きしたことがあるのではないのでしょうか。インターネット環境の進化の早さには目を見張るものがありますが、その進化の裏では次々と新しい問題も浮上し、野放ししておけない状態になっています。

このプロジェクトでは、子どものインターネット利用で派生する問題を見守り、指導する親や教師を支援するシステムの開発を目指しています。インターネット環境における子どもの安全という問題に挑む代表者や実施者の方々の姿を取材しましたので、ぜひご覧ください。

プロジェクト実施者インタビュー第6回
「子どものネット遊び場の危険回避、予防システムの開発」プロジェクト

→ <http://www.anzen-kodomo.jp/pdf/20091016.pdf>

3. 「犯罪からの子どもの安全」WEBサイトアクセスランキング

【アクセスランキング】

☆1位 研究開発プロジェクト

<http://anzen-kodomo.jp//program/research/index.html>

2位 イベント情報
<http://www.anzen-kodomo.jp/event/>

3位 第2回「犯罪からの子どもの安全」シンポジウム予稿集
<http://anzen-kodomo.jp//pdf/col04.pdf>

「犯罪からの子どもの安全メールマガジン」

▼メールマガジンに関する各種変更、配信登録・解除はこちら

<http://www.jst.go.jp/melmaga.html>

▼ご意見・ご感想、お問い合わせはこちら

c-info@anzen-kodomo.jp

■発行日 2009年10月29日

■発行元

(独) 科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

「犯罪からの子どもの安全」研究開発領域

領域WEBサイト <http://www.anzen-kodomo.jp/>

社会技術研究開発センターWEBサイト <http://www.ristex.jp/>
